

# [第 109 回藤樹人間学塾のご案内]



皆さま

令和 2 年 9 月

NPO法人高島藤樹会

いつもありがとうございます。

本塾は藤樹先生の教えを学び、人間いかに生きるべきかを共に考える形で進めています。

9 月はコロナ対策を十分に第 108 回を開きました。参加者は京都、大津、近江八幡からを含め 10 名でした。

最初に「with コロナ時代の幸せ」について、幸福学研究の第一人者、前野隆司教授の「幸せになるためには 4 つの因子①やってみよう因子(自己実現と成長の因子)、②ありがとう因子(つながりと感謝の因子)、③なんとかなる因子(前向きと楽観の因子)、④ありのままに因子(独立とマイペースの因子)がある」という話を紹介しました。

さて、今回は『中庸解』第 20 章の続きです。「誠は天の道なり。之を誠にするは人の道なり。誠は勉めずして中(あたり)、思わずして得、従容として道に中るは聖人なり。之を誠にするは、善を択びて固く之を執る者なり」。

大意について、中庸解を図示して説明しました。「誠は天の道である。すなわち天の命が私たちの身体に宿っているものである。聖人は心がきれいなので、それをそのまま得ることができるが、賢人等は欲などの心の汚れがあるので、それを取り除く工夫修養をして誠に至る努力をし続けなければならない」。



そして、吉田松陰や鈴木大拙が如何に「誠」の人であったかという話を、資料を基にしました。

参加者からは「幸せの因子という考え方にはとても共感した」、「従容とした生き方をしたい」、「コロナ禍の中、医療従事者に感謝するコンサートを開き喜んでいただいた。学んだことは実践していきたい」、「皆で勉強すると場の力で学びが深くなる」、「鈴木大拙の年をとる意味(欲が少なくなるので内面を省察できる)という考えに感銘を受けた」等のご意見を頂きました。

学ぶは愉<sup>たの</sup>し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

■ 日 時 令和 2 年 10 月 3 日(土) 15 時～17 時

■ 場 所 安曇川公民館(高島市安曇川町田中89)

■ テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」

テキスト 中江藤樹著・西晋一郎通訳『中庸解・通訳』第 20 章 p.290～

塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)